

# 20周年記念式典が 挙行されました。

## 飛騨高山高20周年祝う 記念式典で新しい演台披露



式典でお披露目された記念品の演台＝高山市下岡本町、飛騨高山高校岡本キャンパス

飛騨高山高校の統合20周年記念式典が8日、高山市下岡本町の同校岡本キャンパスで開かれ、在校生や同窓会の関係者らが節目を祝った。

同校は2005年、旧高山高校と旧斐太農林高校が統合、斐太高校の通信制に移管されて誕生。生徒数は県内でも最大規模を誇る。式典には全校生徒や来賓ら約930人が出席。実行委員長の中田彰同窓会長は

「少子化で生徒数は少なくなるが、30年、50年と発展し、飛騨中の子どものための憧れとなるよう生徒のますますの活躍を期待してまいります」と式辞を述べた。

記念品として、県立木工芸術スクール（同市匠ヶ丘町）の訓練生らが製作し、校章部分を環境科学科の生徒が手掛けた演台、生活デザイン科の生徒が作った演台カバーが披露された。生徒を代表し、全日制3年の吉屋颯太さん、定時制4年の高橋拓夢さん、通信制2年の松永紗季さんがあいさつ。吉屋さんは「これから

も活力あふれる愛される学校であり続けましょう」と力強く語った。

式典後、同市出身で明治大先端数理科学研究科の杉原厚吉教授が講演した。（山田雄大）